

道しるべ



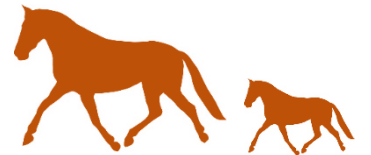
「優駿」

第37号

撮影：森 正廣 2017.3.22

競馬ファンの方が見れば、胸が躍る言葉ですね。
私は、斉藤由貴主演の映画、「優駿オラシオン」を思い出します。
特別に優れた足の速い競走馬

一方で、**非常に優れていること**、とあります。
この反対語に、「駄馬」という言葉があります。
乗馬用に使えない下等な馬、一方で荷物を運ぶ馬。
とかく馬となると、足の速い優れた馬だけが脚光をあびるよう
ありますが、重い荷物をしっかり担いで目的地まで運んでくれる
駄馬も忘れてはいけないと思います。畑を耕すにも活躍しました。



昔は生活を支えてくれた馬、
しかしこの駄馬も今は、車に代わり・トラクターに代わり、ほとんど
出番はありません、我々はその駄馬の代わりに荷物を運ぶ仕事を担っています。
でも昔はその馬で荷物が届き生活が助けられました、
またその馬の目を見て心癒された、そんな時代ではなかったかと思えます。
物は不便だった、しかし心は豊かだったような気がします。

我々も馬に代わり、**荷物と一緒に温かい心運びたい**と考えます。
話をしない馬、でも目で多くを語っているようなそんな気がします。
言葉を巧みに使い偽りごまかしても、目を見ればその真意がわかると言われています。

「目は口ほどにものをいう」

馬のような温かい目で、笑顔の毎日をおくりたいと考えます。
一応念のために、私は競馬はやりませんので・・・(´艸`)

平成29年4月

森 正廣